



ウルグアイ東方共和国 (Oriental Republic of Uruguay)



- ウルグアイに対する日本の経済協力は1964年以降50年以上にわたり実施しており、これまでの援助総額は、224.39億円。現在は、技術協力及び草の根・人間の安全保障無償資金協力を中心に実施。
- 格差是正や環境保全分野への支援を通じ、持続可能な開発に向けた支援を行う。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 17.6万平方キロメートル(日本の約半分)
- ・人口: 約343万人(2015年, 世銀)
- ・首都: モンテビデオ
- ・民族: 欧州系90%, 欧州系と先住民の混血8%, アフリカ系2%
- ・言語: スペイン語
- ・宗教: キリスト教(カトリック)が多数
- ・政体: 立憲共和制
- ・議会: 二院制(上院31名, 下院99名, 共に任期5年, 上院議長は副大統領が兼任)
- ・GDP: 534.4 億米ドル(2015年, 世銀)
- ・GNI: 一人あたり 15,720米ドル(2015年, 世銀)
- ・経済成長率: 1.0%(2015年, 世銀)
- ・失業率: 6.6%(2014年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1516年	スペイン人が最初にこの地を訪れる
1825年	独立宣言(8月25日, 独立記念日)
1903年	バジェ・イ・オルドニェス大統領, 民主主義政策, 社会保障整備を推進
1930年	第1回ワールドカップで優勝
1973年	極左テロ鎮圧により軍部台頭, 議会閉鎖(軍政化)
1985年	民政移管
2010年	ムヒカ大統領就任(FA(拡大戦線)(左派))
2015年	バスケス大統領就任(FA(拡大戦線)(左派))

援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	71.66億円 (2014年までの累計)
無償資金協力	20.88億円 (2014年までの累計)
技術協力	151.85億円 (2014年までの累計)
シニア海外ボランティア	延べ159人 (2016年6月時点で19人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

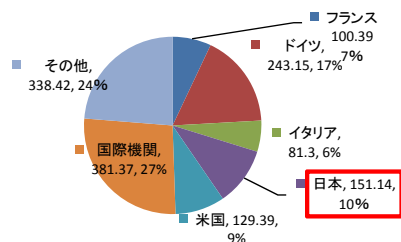
経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からウルグアイへの輸出	82.1億円 (2015年, 財務省)
ウルグアイから日本への輸出	70.3億円 (2015年, 財務省)
在ウルグアイ日系企業数	22社 (2015年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ウルグアイにおける在留邦人数	342人 (2015年, 法務省)
在日ウルグアイ人数	131人 (2015年, 法務省)
ウルグアイから日本への留学生数	3名 (2015年, JASSO)

ウルグアイへの主要ODA供与国 (1960年～2013年累積, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



日本とウルグアイ東方共和国との協力年表

年代	案件
1921年	日・ウルグアイ外交関係樹立
1940年	通商航海条約締結
1974年	査証免除取極締結
1991年	技術協力協定締結
1996年2月	シニア海外ボランティア派遣開始
2001年	外交関係樹立80周年を記念して日本庭園の造園
2008年9月	日本人ウルグアイ移住100周年記念式典
2009年6月	無償資金協力「観光スポーツ省柔道器材整備計画」
2009年12月	太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画
2011年5月	東日本大震災を受け、ウルグアイ政府から50万米ドル(約4,000万円)の義援金を日本赤十字に提供
2011年10月	日・ウルグアイ外交関係樹立90周年
2015年1月	日・ウルグアイ投資協定の署名
2015年11月	日・ウルグアイ首脳会談(バスケス大統領訪日)
2016年3月	草の根・人間の安全保障無償資金協力署名累計100件

この協力を通して、太陽光モジュールの基礎工事、太陽光発電システム一式、変圧器、配管・配線電気材料の調達を支援したことで発電能力の向上やエネルギー源の多様化、再生可能エネルギー利用に関する同国民の意識啓発に寄与。



ウルグアイ郵便局は、在ウルグアイ日本大使館と協力し、90周年の記念切手の発行を決定。



ウルグアイは、南米の中でも生活水準が高く、投資誘致にも積極的。この協定の締結により、法的安定性の向上等投資環境が一層整備され、両国間の経済関係の更なる促進が期待。



安倍総理大臣は、南米の物流ハブとしてのウルグアイの地理的重要性を強調し、両首脳は、両国間の貿易・投資増加に向けて協力することで一致。

